

## 荒川区立第七中学校 第77回 入学式 学校長式辞

春たけなわの季節となりました。

まずは、66名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

在校生、教職員一同、皆さんの入学を心待ちにしていました。

そして、本日は荒川区議会議員の皆様、ご来賓の皆様、公私ご多用のところ、本校の入学式にご臨席を賜りまして、誠にありがとうございます。

厚く御礼申し上げます。

はじめに簡単に本校のことをご紹介させていただきます。

本校は昭和22年に創立し、本年度で77年目を迎えます。

卒業生は1万3千707名を数え、知徳体の調和のとれた、主体的に学ぶ生徒を育成する、伝統のある荒川区公立中学校です。

「校訓まごころ」を七十七年引き継ぎ、校舎は少々古くなっている部分もありますが、その分、歴史と伝統、たくさんの先輩の努力と思い出が刻まれ、地域からも愛されている学校です。

本年度もめでたく、六十六名の新入生を迎えることができました。

さて、本日、皆さんは第七中学校に入学し、新しい生活をスタートさせました。

中学校生活への希望と不安で胸がいっぱいだと思います。

皆さんはこれまで、物心ついた頃から、与えられた環境の中で、保護者の方や学校の先生の言うことを素直に受け入れて行動することが多かったことでしょう

しかし、これから皆さんは大人になる準備が本格的に始まり心も体も大きく成長していきます。

これから始まる中学校での3年間は自分で考え、判断し、行動することが多くなっていきます。

自分で考え、判断し、行動するということは、その結果の責任を自分で負うということになります。

楽しいことや上手くいくこともあれば、苦しいことや失敗もあると思います。

たくさん失敗をしてください。

失敗からたくさんのごことを学んでください。

なぜ上手くいったのか、なぜ上手くいかなかったのか、教科書から学べないこともたくさん学んでほしいと思います

よく考え、より良い判断をして、悔いのない、学校生活を送ってください。

中学校生活は3年間という短い時間です。

私は生徒に時間を守りなさいと話しをするよりも、時間を大切にみなさいと話をしてきました。

時間は時の間と書きます。

1時間、1日、1年、時と時の間を示す単位はいろいろありますが、自分に与えられている一番長い時の間は命の始まりから終わりまでの、人生という長さです。

1日に2度の朝はやってこないように、人生に2度の中学3年間はありません。

その短い時間を自分で大切に使うしてほしいと考えています。

1秒1秒、命の時間を費やして生きているのだと言う、当たり前のことを忘れないでください。

勉強すべき時間は一生懸命勉強し、楽しむときは大いに楽しんで、中学校卒業後の未来につながる充実した3年間を送ってください。

最後に皆さんに伝えておきたい事があります。

いじめは絶対に許しません。

自分と他人は違うのは当たり前の事です。

考え方や振る舞いが違うからといって、その人を攻撃したり排除したりして傷つけることは許しません。

誰とでも良好な関係を築く力を身に付けてください。

皆さんが少しずつ中学校の生活に慣れ、不安がなくなっていくように、私たち教職員も一生懸命頑張ります。

皆さんの後ろには77年の伝統を引き継いだ頼もしい先輩もいます。

ぜひ3年生や2年生を頼ってください。

結びとして、保護者の皆様にお祝いとお願いを申し上げます。

本日はお子様の中学校へのご入学、誠におめでとうございます。

お子様の義務教育最後の3年間を過ごす学校として、本校をお選びいただきましたことに感謝を申し上げます。

本校教職員一丸となり、生徒の育成に全力を傾けます。

本校の教育活動を推進するにあたり、保護者の皆様のお力添えは絶対に欠かせません。

なにとぞ、三年間にわたるご支援を賜りますよう、お願い申し上げます、式辞といたします。

令和五年四月七日

荒川区立第七中学校長 千葉 貴